



DMP、一般社団法人 日本ドローンコンソーシアム(JDC)に 法人会員として加盟

～ドローン産業エコシステムとの連携強化、Di1 を中核とする
エッジ AI ビジョン技術の社会実装を加速～

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル(本社:東京都中野区、代表取締役会長兼社長 CEO:山本 達夫、東証グロース:3652、以下「DMP」)は、わが国の産業用ドローンの社会実装および産業育成を推進する一般社団法人 日本ドローンコンソーシアム(代表理事:野波 健蔵、本部:千葉県千葉市稲毛区、以下「JDC」)に、法人会員として加盟したことをお知らせいたします。

近年、社会インフラの老朽化、労働力不足、災害対応の高度化といった社会課題を背景に、農林水産、測量、インフラ維持管理、防災・減災等の分野において、産業用ドローンの活用ニーズが高まっています。特に、通信環境が限定される現場においても、機体側で画像認識・距離計測・周囲認識等をリアルタイムに処理できるエッジ AI ビジョン技術は、自律飛行、自動点検、現場判断の迅速化を支える重要技術として期待されています。

DMP は、独自開発による次世代エッジ AI SoC「Di1」を中核に、エッジ AI ビジョンソリューションを国内外のドローン・自律ロボティクス分野へ展開しております。今回の JDC 加盟を通じて、メーカー・ユーザー・ベンダーの垣根を越えた業界横断の議論および社会実装活動に積極的に参画し、わが国のドローン産業の更なる発展に貢献してまいります。

■ JDC について

JDC は、産業用ドローンを対象に、その急速に拡大する応用分野におけるビジネス化を促進するための業界横断組織です。法人企業を主とする全国約 300 組織の会員が結集し、有望な導入事例や課題解決策の共有、社会実装の支援、安全ガイドラインの策定、認定スクール事業の展開、制度設計および国際標準化への参画等を推進しています。また、JDC は関係省庁(国土交通省、経済産業省、NEDO 等)の各種検討会・委員会にも委員として参画するなど、わが国のドローン産業の中核を担っています。

■ DMP の参画部会と狙い

DMP は、JDC の産業促進委員会内に設置された各専門部会において、以下の領域で活動に参画し、Di1 を活用したエッジ AI ビジョン技術の適用可能性を広げてまいります。

- ・ 防災系部会 — 災害現場におけるリアルタイムな状況把握、被災状況の三次元把握、捜索・救助支援等、防災・減災用途へのエッジ AI 技術の適用
- ・ 構造物点検部会 — 橋梁・トンネル・送電線・プラント・河川等の社会インフラ点検における、AI による自動異常検知、高精度三次元計測、点検効率化への寄与

これらの分野は、Di1 が備える高性能 AI 推論エンジン、リアルタイム三次元測距、複数カメラ入力による周辺認識といった技術的特長を活かしやすい領域です。クラウドに依存しないエッジ完結型のリアルタイム処理により、通信制約のある現場環境においても、低遅延かつ高効率なビジョン AI 処理を実現します。

■ Di1 について

Di1 は、DMP が開発した次世代エッジ AI SoC です。DMP の独自開発による高性能 AI 推論エンジン(業界初の FP4 対応(当社調べ)、ViT 対応)、ハードウェアベースの高精度リアルタイム

3D Ranging Engine(Stereo Vision)、および iCatch Technology の ThetaEye AI Imaging Platform(ISP)を1チップに統合し、4チャンネルカメラ入力による360度ビジョン処理を実現しています。ドローン・自律ロボットなど、リアルタイム性と省電力性が求められるエッジ AI アプリケーション向けに最適化されています。エッジ側で AI 推論、距離計測、周囲認識を処理することで、クラウドへの通信負荷を抑えながら、低遅延な判断支援や自律制御への応用が期待されます。

DMP は、JDC の活動を通じて、ドローン産業エコシステムにおけるパートナーシップを更に拡充するとともに、Di1 を中核とするエッジ AI ビジョン技術の社会実装を加速してまいります。また、参画部会における議論および各種実証活動を通じて得られる知見を、製品開発および顧客提案に積極的に還元し、高成長が期待されるエッジ AI 市場における事業機会の更なる創出を図ってまいります。

■ 会社概要

株式会社デジタルメディアプロフェッショナルは、GPU および AI 半導体の開発を手掛けるファブレス半導体企業です。独自の画像処理および AI 技術を基盤に、「Making the Image Intelligent」をパーパスに掲げ、エッジ AI 分野における革新的なソリューションを提供しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル
テクノロジー製品事業部

TEL:03-6454-0450

e-mail:info_06@dmprof.com

Web サイト: <https://www.dmprof.com/jp/contact/>